



## News & Topics

### 【青山地区】青山さくらまつり



青山地区まちづくり協議会（遠藤政幸会長）は、盛岡ふれあい覆馬場プラザを会場に、4月16日（土）から23日（土）の午後6時から8時までの間、桜のライトアップを行いました。

青山さくらまつりは、例年、青山地区屈指の桜の名所である国立病院機構盛岡医療センターを会場に、ステージ発表、屋台やキッズコーナーなど、多くの来場者で賑わうイベントですが、4年度は、桜のライトアップの他、桜のフォトコンテストを募るなどコロナ禍でも実施できる方法で開催されました。

同協議会の秋篠京子事務局長は、「コロナ禍でイベント実施を断念した3度目の春。いつも通り開催できなくても、地域の皆様に楽しんで頂けるような“何か”を模索した結果、せめて昼夜問わず赤レンガの桜を楽しんでもらおう！」という想いで実施した。」と述べていました。

### 市民協働推進センターを知ろう！上田公民館編

#### 市民協働推進センターとは？

地域活動、NPO活動、市民活動に取り組む団体を支援するため、市内6館の公民館（中央・上田・西部・河南・都南・渋民）に設置している拠点です。そのうち、今回は上田公民館を紹介します！



↑上田公民館では、コミュニティホールに市民協働推進センターのフリースペースを作り、市民活動に関する資料や助成金情報などを配架しています。町内会・自治会等の団体の打合せなどにはコミュニティルームもご利用いただけます。

7月15日（金）には、地域の町内会や地域団体が参加して踊りを披露する「上田公民館夏まつりさんさ踊り」が賑やかに開催されます。この機会に上田公民館を訪れてみてください。

初開催！

### 町内会・自治会 基礎講座



市では、新たに町内会等の役員になった方を対象に、基礎講座を開催します。内容は、市への届け出や連絡が必要な事項、補助金制度の解説などです。

申込方法など詳細は、6月の会長あて文書でご確認いただくか、市民協働推進課 地域活動係（626-7500）へお問い合わせください。

- ① 盛岡市総合福祉センター 4階講堂  
令和4年7月27日（水）15時～16時15分
- ② 玉山総合事務所 3階大会議室  
令和4年7月29日（金）15時～16時15分  
[参加料：無料]

回 覧									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## つながる わ Vol. 84



発行：盛岡市市民部市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2  
TEL : 019-626-7535（直通）  
E-mail : kyodo@city.morioka.iwate.jp  
(令和4年6月発行)



### やまめ・あゆの稚魚放流会

in 中津川



盛岡市は、市中心部を流れる中津川の水産資源を守るとともに、釣り愛好家と市民にレジャーの場を提供することを目的に、5月9日（月）に、やまめの稚魚約8,500尾を、5月16日（月）に、あゆの稚魚約14,215尾の放流を、中津川河川敷7個所で実施しました。

毘沙門橋から上ノ橋付近で行われた放流会には、桜幼稚園に通う園児も参加。園児の手による放流のほか、ホースによるあゆ一斉放流も行われ、園児たちは、水中にのばしたホースから勢いよく飛び出す稚魚を、大きな歓声を上げ楽しそうに眺めていました。

この取組は、昭和51年から行われており、岩手県釣り団体協議会（中村久美男会長）の協力のもと実施されています。同会の中村会長は、「県庁所在地の中心を流れる川でやまめやあゆが見られるのは、全国的に珍しい。こうした盛岡市の宝を皆で守っていきたい」という想いで実施している。」と述べていました。

中津川における、今年のあゆ釣りの解禁日は7月3日（日）。同日、あゆ釣り教室の開催が予定されています。あゆ釣り教室の詳細については、市HP「観光情報」よりご確認ください。



# コミュニティリーダー研修会

主催：盛岡市/共催：盛岡市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会、“世界につながるまち盛岡”市民会議

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場に参集して受講する形式ではなく、事前に収録した動画をオンライン（市公式YouTube）上で配信し、配信期間内（2月15日（火）～2月28日（月））に申込者が各自で視聴する形式にして研修会を開催しました。



## 地域の課題解決力を上げる

講師：特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター 広田 純一 代表理事

### なぜ、コミュニティが必要か？

#### ■ いざというときのために

災害時、一番に助け合えるのは、物理的に近くにいる人同士。有事の時のためにも、近所の方とは顔見知りになっておくことが必要です。

#### ■ 普段の心地よい暮らしのため

我々は、知っている人には協調的ですが、知らない人には警戒しがち。顔見知りにさえなっておけば、自然と支え合い、助け合える「心地良い関係性」を築くことができます。

#### ■ 地域の課題解決のため

最低限の共同作業のほか、お祭りや防災活動といった、より積極的な地域づくり活動を進める必要があります。

### コミュニティ活性化のコツ

#### 「小さく始めて、少しずつ広げていく」こと。

#### 「良い地域」とは？

一言で表すと「腹がくくれている地域」。ないものねだりをせず、今あるものを生かすのが肝要です。人間、いつも嘆いている人とは長く付き合いたいと思わないはず。地域も同じで、どんなに厳しい条件におかれても、前向きに「できることからやろう」という姿勢を持っている地域は良い地域であると言うことができます。

#### ご縁を大切に

今住んでいる地域は、何かの縁があって暮らすことになった地域。ぜひ、地域を大切にする気持ちを忘れずに、地域づくりに励んでいただきたいと思います。

## 講演



### 城南地区地域づくり委員会

発表者：金澤 卓司 事務局長

当会は、町内会・自治会・各団体等の相互理解を土台とし、「住みよいまち古都『城南』」をテーマに活動しています。

平成25年に「地域づくり計画」を策定。この計画に基づき、城東中学校と協働で地域活動（清掃活動や除雪活動）を行ったり、地元の人や観光客に地域を知つてもらうための由緒板（いわればん）を設置したり、地区マップを活用した散策会を行つたりしています。

地域資源を集約しながら、更なる情報発信を行うことで、興味・関心を持ってくれる人を増やし、また地区に主体的に関わる人が増えることを目指し、これからも活動を進めていきたいです。

### 盛岡市 男女共同参画推進室

発表者：佐藤 澄 主事

市は、「性別等にかかわらず、誰もがお互いの人权を尊重し、一人ひとりの個性と能力を十分に發揮できる社会」の実現を目指しています。

先進的な取組を行う地域では、若者・子育て世代に地域活動に参加してもらうため、次のような工夫が見られます。

- ① 「大変そう」「負担感がある」のハードルを下げる。
  - ② 参加しやすい雰囲気づくり。
  - ③ 時間や条件を変える。
  - ④ 様々な人にも届く情報発信・共有。
- 変化が激しい時代に、組織や社会が持続可能な運営をしていくためには、多様な人の活躍が不可欠といえます。

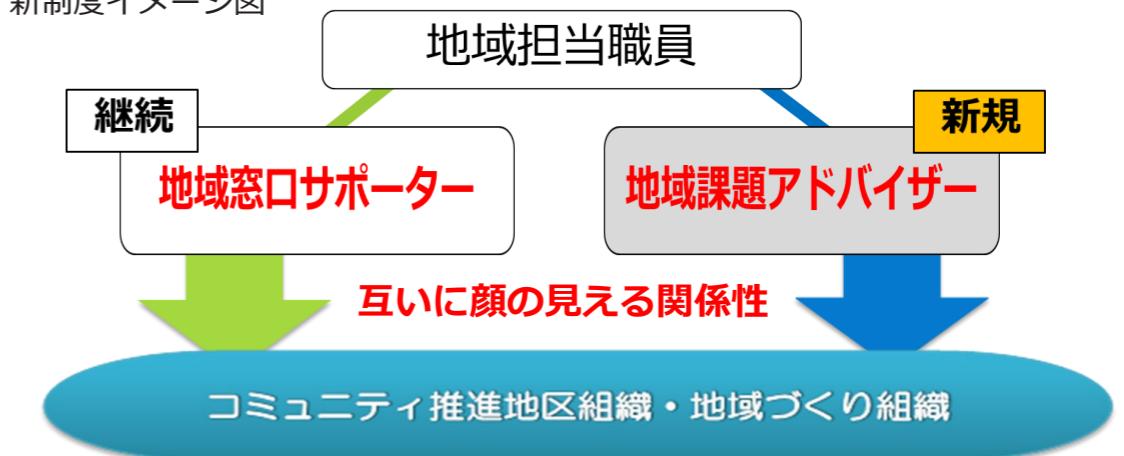
# 地域担当職員制度 が新しくなりました

市は地域の皆様と意見を交換する中で寄せられた意見を取り入れて、令和3年3月に「盛岡市地域づくり協働推進計画」を策定しました。同計画に基づき、令和4年度から、コミュニティ推進地区組織等を対象に、従来の地域担当職員を「地域窓口センター」として継続するとともに、新たに地域課題を地域と一緒に考える地域担当職員を「地域課題アドバイザー」として要望に応じて配置する新しい制度を実施します。

## ポイント

- 1 従来の職務を「地域窓口センター」として継続
- 2 地域課題の解決を地域と一緒に考える「地域課題アドバイザー」を創設
- 3 新しい制度により、地域と市職員との「互いの顔の見える関係性」を築く

※ 新制度イメージ図



## 「せきれい号」の運行を再開します

「岩手県緊急事態宣言」解除に伴い、5月31日（火）より地域活動バス「せきれい」の予約を再開しました。

バスの空き状況や、予約方法、利用条件などは、市民協働推進課 協働推進係（626-7535）へお問い合わせください。

なお、これらの情報は、市HPでも確認いただけます。

地域活動バス「せきれい」は、市が共催する町内会などの研修活動にご利用いただけます。利用料は無料です。

#### ■ 共催の対象となる活動

1. 市政見学、事業所見学などの活動
2. 文化、芸術、教養などの学習活動
3. 体育、スポーツなどの健康活動
4. ボランティア活動など

#### ■ 乗車人数

9人以上、17人以内

#### ■ 申請方法

毎月1日（土日・祝日の場合は翌日）に、翌月分の受付と抽選を、午前9時から市民協働推進課窓口にて行います。

抽選以降に空きがあるときは、利用希望日2週間前まで、随時受付ます。



## 事例発表



広報ID  
1001903